

平成30年産 仙南稲作情報（第6号）

平成30年7月20日発行
宮城県大河原農業改良普及センター
TEL：0224-53-3431 FAX：0224-53-3138
※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

南部平坦地帯では、出穂も間近です

— 斑点米カメムシ類の防除を徹底しましょう！ —

1 気象経過（丸森アメダス、7月10日～7月19日）

- 最高気温・最低気温は、平年より大幅に高い傾向です。日照時間は、平年より多いです。（最高気温：平年差+6.3℃、最低気温：平年差+4.0℃、日照時間：平年比172.7%）。

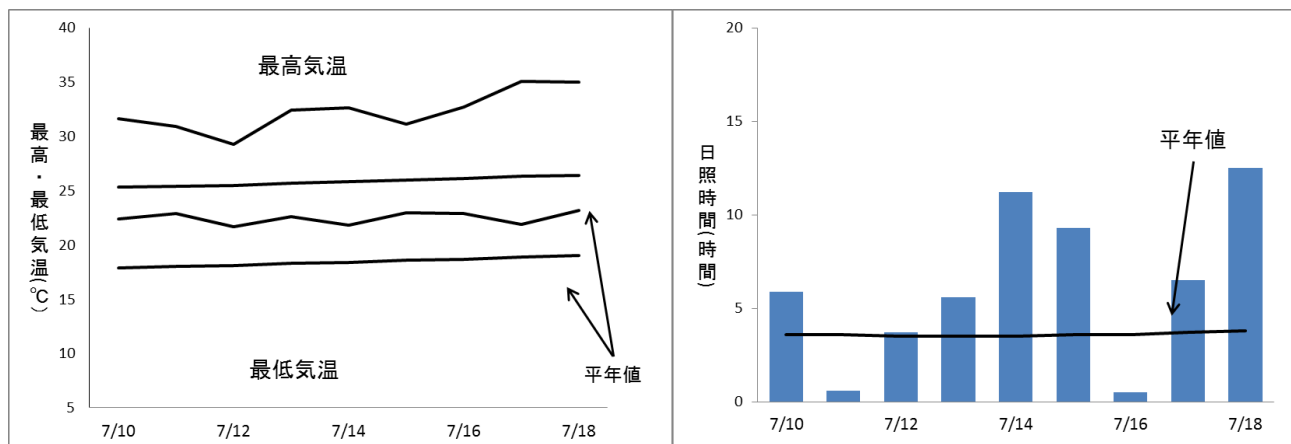


図1 気象経過（丸森アメダス、7月10日～7月19日）

2 管内の生育状況

【7月20日調査結果】

- 今年の生育ステージは平年より早めに進み、平坦部では減数分裂期に入りました。
- 平坦な地域で田植の早かった「ひとめぼれ」や「まなむすめ」は7月末頃、山間部の「やまのしずく」は8月上旬の出穂が見込まれます。
- 極晩生の「つや姫」でも、幼穂形成期に入っています。
- 「だて正夢」についても、5月上旬に田植えしたほ場では、7月下旬には出穂が見込まれます。

□ 管内の生育調査結果（7月20日）

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考して下さい。

No	ほ場所所在地	品 種	田植月日		草 丈			茎 数			葉 数		葉 色 (GM)		幼穂長 (mm)		
			本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m ²)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	平年差		前年差	
1	角田市野田	ひとめぼれ	5/14	5/8	77.8	103	105	466.1	118	135	13.3	0.6	0.6	33.0	0.4	0.4	165.6
2	大河原町金ヶ瀬	ひとめぼれ	5/8	5/7	82.3	106	107	511.8	98	101	12.4	0.5	▲0.1	28.8	▲3.3	0.0	131.5
3	角田市島田	つや姫	5/22	5/15	81.1	111	106	479.0	100	106	12.8	0.5	0.3	37.9	1.8	1.5	4.3
4	白石市小原	ひとめぼれ	5/16	5/17	76.5	112	116	325.1	78	107	12.8	1.0	1.2	38.8	3.6	3.6	61.0
5	蔵王町宮	まなむすめ	5/19	5/8	85.6	103	104	469.0	90	96	12.1	▲0.5	▲1.1	34.9	0.6	4.2	62.3
6	七ヶ宿町湯原	やまのしずく	5/23	5/26	65.4	105	101	302.0	76	109	11.0	0.2	0.4	43.4	1.5	0.2	35.7

◆平年値は前5か年(H25～29)の平均値

※白石市小原「ひとめぼれ」(調査2年目)蔵王町「まなむすめ」(調査初年度)のため、「西部丘陵地帯」の平年値との比較
角田市「つや姫」については「播種量」が前年「150g/箱」に対し、今年は「230g/箱」となっている。(密苗に近い播種量)

□ 「だて正夢」の生育調査結果（7月20日）

ほ場所在地	地帯区分	田植月日		草丈		茎数		葉数		葉色(GM)		幼穂長(mm)	
		本年	前年	(cm)	前年比	(本/m ²)	前年比	(枚)	前年差		前年差		前年差
角田市鳩原	南部平坦	5/9	5/6	89.1	112.4	389.8	101.6	13.2	0.2	36.6	▲ 1.4	183.0	10.0

3 今後の管理

【出穂時期の予測】

- ・ 出穂は、ほ場ごとに異なります。 幼穂長を測定して、出穂までの日数を把握しましょう。

発育過程		出穂前日数	幼穂長(mm)
幼穂形成始期		25日	1~2
減数分裂期	始期	15日	30~40
	終期	12日	80~100

※仙台管区气象台より、高温に関する異常天候早期警戒情報（東北地方）が発表されています。

（平成30年7月19日14時30分 仙台管区气象台 発表）


7月24日頃からの約1週間、かなりの高温（7日平均地域平年差+2.6℃以上）が予想されていますので、発育過程からみた出穂前日数の期間が短くなり出穂が早まることも想定されます。注意してください。

【水管理】

① 常時

根に十分に水分を与えつつ酸素を供給できるように間断かん水としましょう。出穂開花期は水を最も必要とする時期なので、浅水管理とします。

収穫作業前の落水の適期は出穂後25日目頃ですが、ほ場の保水力（乾きやすさ）や天候による乾湿の状態などを考慮して決定しましょう。

 倒伏が心配されるほ場では、収穫作業前の落水期まで飽水管理としましょう。飽水管理とは、田面の足跡に水がなくなったら入水し、土が十分湿ったら落水する、を繰り返す、根の健全化と茎の充実を図る栽培法です。

② 出穂後の高温時

出穂後の20日間で最低気温が23℃以上となる異常高温が連続するような場合、乳白粒などの「白未熟粒」による品質低下が発生するおそれがあります。高温時には、可能な限りの対策を取りましょう。

【対策の例】

掛流しかんがい	・ 気温より温度の低い用水を十分に掛け流すことで、水温及び地温を湛水状態より低く抑える方法である。ただし、10a当たり毎分200~300リットル程度の用水が必要となる。
昼間深水・夜間落水管理	・ 掛流しかんがいよりも水温及び地温を低下させる効果は小さいが、十分な用水量を確保できない場合でも実行しやすい方法である。 ・ 午前9~10時頃かん水し、気温が水温を下回り始める午後4時頃に落水する。
飽水管理	・ 掛流しかんがい程の効果は得られないが、慣行（常時湛水）よりも夜間の最低地温が低くなるとともに、根の活力維持に効果がある。

【追肥】(田植えの遅いほ場など、これから必要となるほ場のみ)

- ・幼穂長による減数分裂期の判定の仕方や追肥をするか、しないかの判断については、「仙南稲作情報」第4～5号を参照して下さい。
- ・追肥後は、一時的にいもち病に対する抵抗力が弱まるので注意しましょう。

品種名	幼穂形成期			減数分裂期		
	葉色		施用時期と窒素量	葉色		施用時期と窒素量
	葉色版	葉緑素計		葉色版	葉緑素計	
ひとめぼれ	4.2～4.5	37～39	出穂25～20日前 1kg/10a	3.9～4.2	37～39	出穂15～10日前 1kg/10a
つや姫・まなむすめ	3.9～4.2	35～37	出穂25～20日前 2kg/10a	—		
ササニシキ	—			3.4～3.7	32～34	出穂15～10日前 1～1.5kg/10a

※「だて正夢」の追肥について

- ・栽培マニュアルでは、追肥は減数分裂期に窒素成分で2kg/10aを施用となっています。
- ・追肥は、生育ステージにおける生育量、葉色等に応じて実施してください。(横の表を参照)

□「だて正夢」の生育ステージにおける生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈(cm)	59～63	—
茎数(本/m ²)	440～480	410～450
葉色 (SPAD 値)	39～43	35～39

【病虫害防除】

① いもち病

- ・葉いもちが感染しやすい条件が、7月13日に出ています。
- ・水田をこまめに見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

② 斑点米カメムシ類

□殺虫剤による薬剤防除

- ・薬剤防除は、穂揃期とその7～10日後の2回防除が基本です。
- ・畦畔も水田の一部、薬剤は畦畔も含めて散布しましょう。

□イヌホタルイの残草田では、1回目の殺虫剤防除時期を早めましょう(出穂始～穂揃期)。

- ・出穂後、やむを得ず水田周辺の牧草等を刈取る場合は、刈取り後直ちに水田の薬剤防除を実施しましょう。

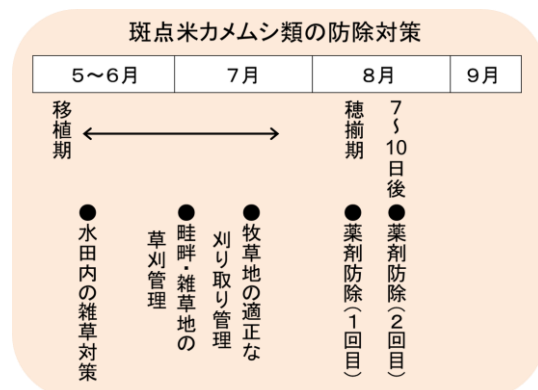
□薬剤防除は広域的に行うと効果が高いので、地域一斉防除に努めましょう。

□ヒエやイヌホタルイ等の雑草があると、出穂前でもカメムシ類を水田に呼び寄せてしまいます。斑点米カメムシ類の対策を徹底しましょう！



< 斑点米カメムシ類 >

※本県の主要種：アカスジカスミカメ



□ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。

□ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょう。

4 直播栽培における管理のポイント

【7月20日調査結果】

- ・湛水直播栽培の展示ほの生育については、幼穂形成始期に達しました。
- ・生育ステージを確認して、幼穂形成期までに中干しを終了させましょう。

□ 直播きの生育調査結果(7月20日)

ほ場所在地	地帯区分	品 種	播種月日		苗立数(本/m ²)		草丈		茎数		葉数		葉色(GM)		幼穂長(mm)	
			本年	前年	本年 (5/31)	前年 (5/29)	(cm)	前年比	(本/m ²)	前年比	(枚)	前年差		前年差		前年差
蔵王町小村崎	南部平坦	ひとめぼれ	5/11	5/12	73	65	76.1	127.7	515.0	107.6	11.1	0.6	36.6	0.0	4.0	0.6

①水 管 理

- ・中干し以降の水管理は、基本的には移植栽培と同じであり、原則として間断かん水とします。

②追 肥

- ・実施する場合は、減数分裂期に1回、窒素成分量で10a当たり1kgが基本です。
ただし、倒伏等の恐れがある場合は行わないようにしましょう。

③病害虫防除

【いもち病】

- ・いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。
- ・一旦発病すると移植栽培より急激に病勢が進展する場合がありますので、初発の確認が遅れないようしましょう。

【イネツトムシ (イチモンジセリ)】

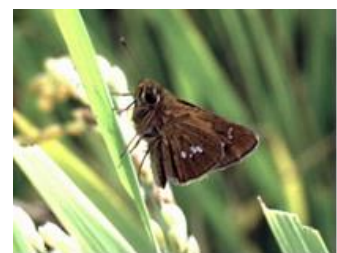
- ・イネツトムシは、直播栽培で多発し、大きな被害を及ぼすことがあります。
- ・直播栽培では、7月中旬頃の葉色が濃く、成虫が集中して産卵するので、移植栽培に比べて被害が多くなります。
- ・被害に気がついたときには、殺虫剤の効果が出にくい中～老齢虫になっており、防除適期を逃していることがよくあります。
- ・発生予察情報や現場の発生状況をもとに、8月上旬頃の若齢幼虫の発生最盛期に防除しましょう。



幼 虫



ツト (ツトの中に蛹がいます)



成 虫

☒ イネツトムシの幼虫・ツト・成虫

☐発生予察情報や現場の発生状況をもとに、適期に防除しましょう！

☐防除適期：成虫の飛来確認後10～14日（若齢幼虫の発生最盛期）

※おおむね7月下旬から8月上旬です。

○平成30年度宮城県農薬危害防止運動実施中(6/1～8/31)